

熊本県総合射撃場 業務報告書

(平成23年4月)

財団法人熊本県スポーツ振興事業団・ミズノ(株)グループ



平成23年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1
	1 利用者対応	
	2 利用者拡大の取組	
	3 サービス向上の取組	
III	維持管理状況	2～3
	1 施設設備の維持管理	
	2 外溝や植栽の維持管理	
	3 施設の衛生管理	
	4 完全管理	
	5 環境保全	
IV	管理運営体制	4
	1 運営組織・体制	
	2 職員研修	
VI	緊急時の体制・対応	5
	1 事故発生時の対応・対策	

【添付資料】

資料1 施設利用状況

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県における射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、射撃場が持つ機能を最大限に発揮した管理運営を行う。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設使用料	
	4月期	前年度当該月	4月期	前年度当該月
熊本県総合射撃場	535人	488人	1,341,170円	889,370円
累計	535人	488人	1,341,170円	889,370円

※前年度との比較

利用者数及び施設使用料共に、公式試合開催に伴う増加となっている。

(2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

期日	苦情、要望等	対応日	対応状況(回答)
4月2・4・9・10・14・15・16・17・23・28日	なぜ、県内と県外の料金が違うのか。	4月2・4・9・10・14・15・16・17・23・28日	県外利用者については、条例どおりの料金とした旨の説明を行う。

2 利用者拡大の取組

(1) 情報提供・広報活動

各情報は、ホームページ、パンフレット、リーフレットにより提供しています。

3 サービス向上の取組

(1) きめ細やかなサポート

① 大会運営サポート

[サポート実施状況]

大会名	実施内容	開催日
第一次長崎公式	スキート、トラップ射場のクレー放出機セット 大会審判が使用する机、旗、パラソルの設置	16日～17日

Ⅲ 維持管理状況

1 施設設備の維持管理

(1) 建築物や設備等の保守管理

① 職員による、点検シートに基づく目視や動作確認等の日常点検の実施

業 務 名	業務内容	実施回数
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機器(芝刈り機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	大会前

② 専門業者による、法定点検、専門性の高い点検の実施

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	受電設備及び分電設備点検	毎月	27日
			異常無

(2) 建築・設備の修繕・改修

[自主修繕等一覧]

実施内容	場 所	期 日
トイレ水漏れ改修	事務所棟	6日
蛍光灯取替改修	事務所棟、トラップ射場地下	20日

2 外溝や植栽の維持管理

射撃場内の樹木、芝生地、法面を景観の維持と災害予防の視点で、適切な管理を行っています。

[職員による作業内容]

場 所	実施内容	期 日
芝刈り	ライフル棟周辺	11日
芝刈り	駐車場	13日
芝刈り	トラップ射場	14日
芝刈り	射撃場入口上り坂右面	19日
芝刈り、剪定	射撃場モニュメント周辺	25日
芝刈り	スキート射場	30日

3 施設の衛生管理

日常的な職員による自主清掃作業をにより、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

4 安全管理

(1) 保安警備業務と体制

開園時間帯は職員による警備、閉園時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24 時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災を行っています。

4 月は、不審者や夜間不法侵入者等への緊急出動はありませんでした。

区 分	業務内容	実施予定時期
職員実施	施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や 排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者 実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視 毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時 随時対応

5 環境保全

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。

業 務 名	実施日
鉛回収作業(職員により実施)	28日

IV 管理運営体制

1 運営組織・体制

射撃場長(統括責任者)のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っております。

利用者対応は、供用時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っております。

利用案内・窓口受付	受付時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口	9:00～17:00	8:30～18:30	施設点検・供用準備を含む。

2 職員研修

区分	研修名・科目	対象	実施日
内部研修	プーラ 研修(クレー放出機操作)	全職員	1日・2日・4日・8日・9日・11日・20日
内部研修	各ライフル射撃研修 (S B・A R・B Rの機器操作)	全職員	4日・7日・17日・25日
内部研修	管理機械操作研修	全職員	6日・8日
内部研修	事業団・ミズノグループ全体研修	全職員	19日

V 緊急時の対策・対応

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに万が一の場合に備え、各種保険に加入しています。

○4月は、災害・事故等に伴う職員の出動はありませんでした。

○4月は、施設所有(管理)者賠償責任補償等の適用となるような事故はありませんでした。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応
・新型インフルエンザ対応行動計画	

[常備危機・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
社会体育施設保険 (財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき4億円(1名につき2億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者傷害保険 (エース損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円

実施日	鉛回収量	汚泥回収量	回収地点				備 考
			A	B	C	D	
18日(月)	100kg	0kg					
22日(金)	50kg	0kg					
28日(木)	200kg	0kg					
合 計	350kg	0kg	2	1	2	1	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	26,515枚	0.024kg	約636.4kg	約636.4kg	

鉛回収地点図

